

「ひめじグローバル人材育成コンソーシアム」 設立総会

4つの“ai”を姫路で紡ぐ ～郷土愛、国際、出会い、高め合い～

2025年3月17日

独立行政法人 国際協力機構（JICA）

関西センター（jicaksic@jica.go.jp）

所長 木村 出



Japan International Cooperation Agency

お伝えしたいこと

I. 自己紹介

II. 「グローバル人材」と「多文化共生」社会

III. なぜ必要か？

IV. 何をなすべきか？ : $0 \Rightarrow 1$

V. どうすれば？

JICAを「触媒」として使って頂く方策の具体例

VI. まとめ： 緒方貞子の言葉

I. 自己紹介： 姫路に育てて頂きました

- ・ 姫路市生まれ
- ・ 主な経歴：
 - ・ 職務経歴：
国担当（フィリピン、インドネシア、イラクなど）、
企画部門、研究部門、アフリカ担当課長、人事部、
理事長担当秘書などを経て、 2022年7月より現職。
- ・ 2023、2024年度は兵庫県立大で「国際関係論入門」も担当

I. 自己紹介： 姫路に育てて頂きました

・海外訪問歴：



I. 自己紹介： 姫路に育てて頂きました

- ・ 海外留学中、海外駐在中も、秋祭りには帰ります。



II. 「グローバル人材」と 「多文化共生」社会

II. 「グローバル人材」と「多文化共生」社会

1. 「グローバル人材」？

- ・ 定義？
- ・ 英語： global human resources?
- ・ 対義語： domestic?

Ⅱ. 「グローバル人材」と「多文化共生」社会

1. 「グローバル人材」？

緒方貞子（1927-2019）の言葉

- ・ 元JICA理事長（2003-2012）
- ・ 日本人初の国連難民高等弁務官（1991-2000）
- ・ 日本人女性初の国連代表部公使（1976）



II. 「グローバル人材」と「多文化共生」社会

1. 「グローバル人材」？

緒方貞子（1927-2019）の言葉

『聞き書 緒方貞子 回顧録』（野林健、納家政嗣、2015年、岩波書店）
開かれた多様性に基づく社会へ（p.301からの抜粋）

世界の中で生きていく力を身に付けるための、多様性をはぐくむ教育を積み重ねていくべきです。

語学力はもちろん大事ですが、語学はあくまでツールであって、目的ではないのです。『英語力＝グローバル人材』だと思ったら大間違いです。そもそも、グローバル人材という言葉が氾濫している昨今の風潮自体がおかしいのです。

より広がりのある視野を持とうとする好奇心、異なる存在を受容する寛容、対話を重ね自らを省みる柔軟性、氾濫する情報をより分ける判断力、そうした力の総体こそが求められているのです。

これからの日本に本当に必要な力はそうしたものです。

II. 「グローバル人材」と「多文化共生」社会

1. 「グローバル人材」？

定義（らしきもの）

『産学官によるグローバル人材の育成のための戦略』
(2011年4月28日、グローバル人材育成推進会議（文部科学省）)

グローバル人材とは、世界的な競争と共生が進む現代社会において、日本人としてのアイデンティティを持ちながら、広い視野に立って培われる教養と専門性、異なる言語、文化、価値を乗り越えて関係を構築するためのコミュニケーション能力と協調性、新しい価値を創造する能力、次世代までも視野に入れた社会貢献の意識などを持った人間であり、このような人材を育てるための教育が一層必要となっている。

Ⅱ. 「グローバル人材」と「多文化共生」社会

1. 「グローバル人材」？

定義（らしきもの）

『グローバル人材育成推進会議中間まとめ』

（2011年6月、グローバル人材育成推進会議（文部科学省））

「グローバル人材」の概念を整理すると、概ね、以下のような要素

要素Ⅰ： 語学力・コミュニケーション能力

要素Ⅱ： 主体性・積極性、チャレンジ精神、協調性・柔軟性、責任感・使命感

要素Ⅲ： 異文化に対する理解と日本人としてのアイデンティティー

このほか、幅広い教養と深い専門性、課題発見・解決能力、チームワークと（異質な者の集団をまとめる）リーダーシップ、公共性・倫理観、メディア・リテラシー等。

Ⅱ. 「グローバル人材」と「多文化共生」社会

1. 「グローバル人材」？

定義（らしきもの）（続き）・・・

『グローバル人材育成推進会議中間まとめ』

（2011年6月、グローバル人材育成推進会議（文部科学省））

グローバル人材の能力水準の目安を(初歩から上級まで)段階別に示すと、

- ①海外旅行会話レベル
- ②日常生活会話レベル
- ③業務上の文書・会話レベル
- ④二者間折衝・交渉レベル
- ⑤多数者間折衝・交渉レベル

この中で、①②③レベルのグローバル人材の裾野の拡大については着実に進捗。

今後は更に、④⑤レベルの人材が継続的に育成され、一定数の「人材層」として確保されることが極めて重要。

II. 「グローバル人材」と「多文化共生」社会

2. 「多文化共生」社会？

・ 定義： 「国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的ちがいを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと。」

『多文化共生の推進に関する研究会報告書～地域における多文化共生の推進に向けて』（2006年3月、総務省）

- ・ 英語： 多文化multicultural 共生 coexisting 社会 society?
- ・ 対義語： multiculturalであればmonocultural、homogeneous

II. 「グローバル人材」と「多文化共生」社会

3. 造語や定義の曖昧さは「同床異夢」を生みやすい

⇒ 姫路の文脈で、

具体的な定義や目指すものを共有することが肝要

ヒント： 本コンソーシアムの「規約」 第2条 目的

コンソーシアムは、**グローバルな視点を備えた国際人材の地域での育成・確保を図るほか、**

海外からの若者が日本での教育を通して成長し、地域に定着して、ともに地域づくりに取り組んでいくことで、

地域における多文化共生社会の実現を図ることを目的とする。

II. 「グローバル人材」と「多文化共生」社会

4. 私なりの姫路における言い換え

- 「グローバル人材」：

「国際的な視座」と「姫路への郷土愛」を兼ね備えた人材

Globally competent (minded) person who has civic pride for Himeji

- 「多文化共生」社会：

「異なるものへの敬意と寛容を有する多様な構成員」が
「共に創る持続可能な」まち

⇒ 4つの“ai”を紡ぎましょう

- 個人：「郷土愛」×「国際」（造語「グローカル」に該当）

- 対人・社会：「出会い」×「高め合い」

（異質な者同士の相互補完・相互協力による活性化）

Ⅲ. なぜ 「グローバル人材」の育成や 「多文化共生」社会が必要か？

Ⅲ. なぜ「グローバル人材」の育成や「多文化共生」社会が必要か？

1. キーワード

#複合的危機

#持続可能性

#相互補完・相互協力

世界的な「複合的危機」のもと、
経済・社会を「持続可能」にするために、
「相互補完・相互協力」が肝要・必要

Ⅲ. なぜ「グローバル人材」の育成や「多文化共生」社会が必要か？

2. 世界は「複合的危機」のもとに

100年に一度、といわれる危機の重なり

(1) 社会システム：

紛争（ウクライナ、中東）

(2) 生命システム：

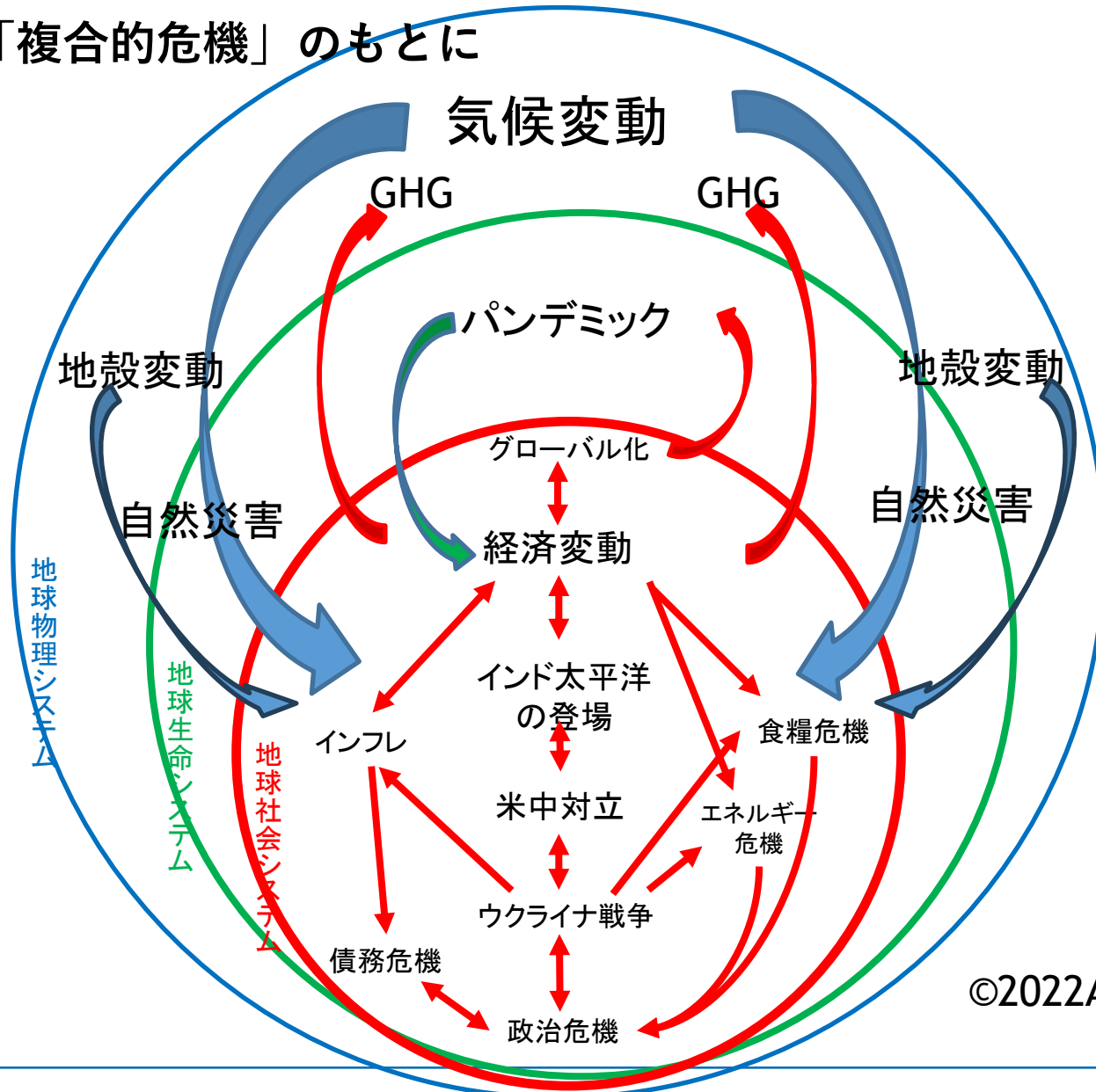
感染症（コロナ、インフル）

(3) 物理システム：

気候変動、気候変動由来の激甚災害

Ⅲ. なぜ「グローバル人材」の育成や「多文化共生」社会が必要か？

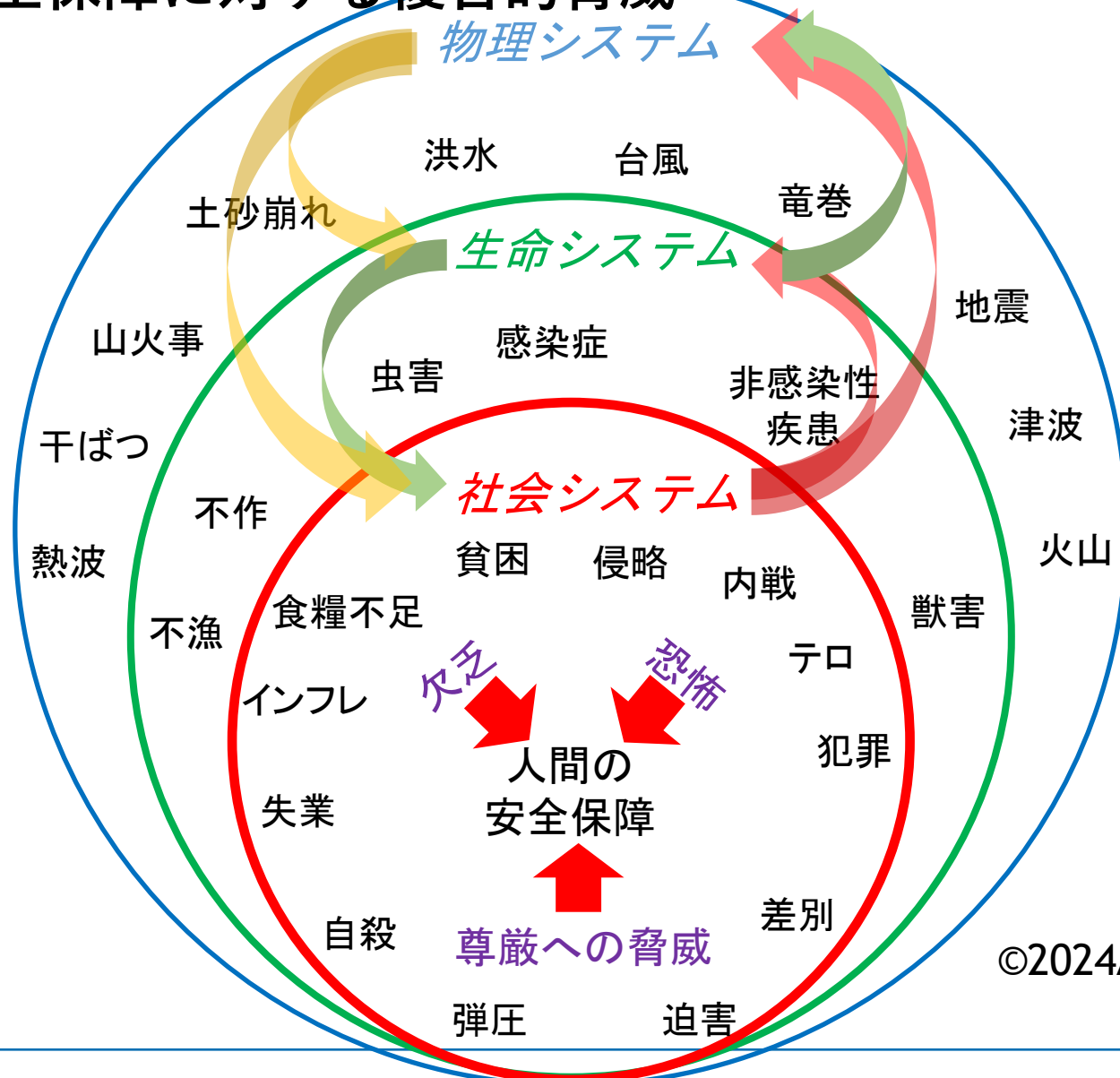
2. 世界は「複合的危機」のもとに



©2022Akihiko Tanaka

Ⅲ. なぜ「グローバル人材」の育成や「多文化共生」社会が必要か？

人間の安全保障に対する複合的脅威



©2024Akihiko Tanaka

Ⅲ. なぜ「グローバル人材」の育成や「多文化共生」社会が必要か？

2. 世界は「複合的危機」のもとに

- ・ 「分断」は本当？

(1) 政治、思想、価値： 分断はある

(2) 経済： グローバル化し、
不可逆的に相互依存性を深めている

⇒ 「風が吹けば、本当に桶屋が儲かる」

Ⅲ. なぜ「グローバル人材」の育成や「多文化共生」社会が必要か？

2. 世界は「複合的危機」のもとに

不可逆的な「相互依存」の経済関係

例 ウクライナ戦争 と たこ焼き・お好み焼き



画像引用: VOANEWS, Tommy Walker

リンク: <https://www.voanews.com/a/6462110.html>

Ⅲ. なぜ「グローバル人材」の育成や「多文化共生」社会が必要か？

●2022年3月2日 国連総会

ロシア非難決議

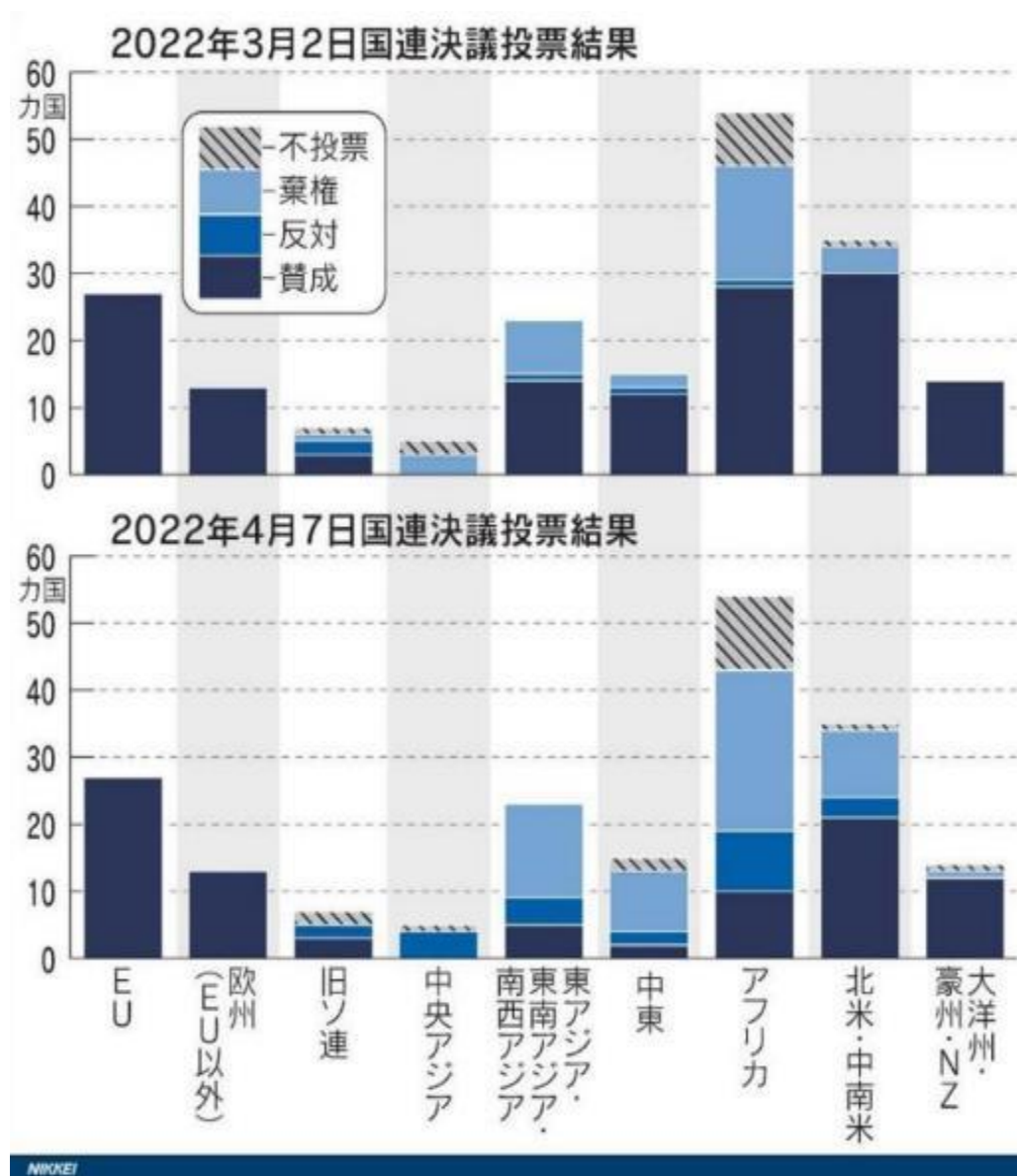
- ・賛成： 141
- ・賛成以外（反対、棄権、不投票）： 52

●2022年4月7日 国連総会

国連人権理事会からの

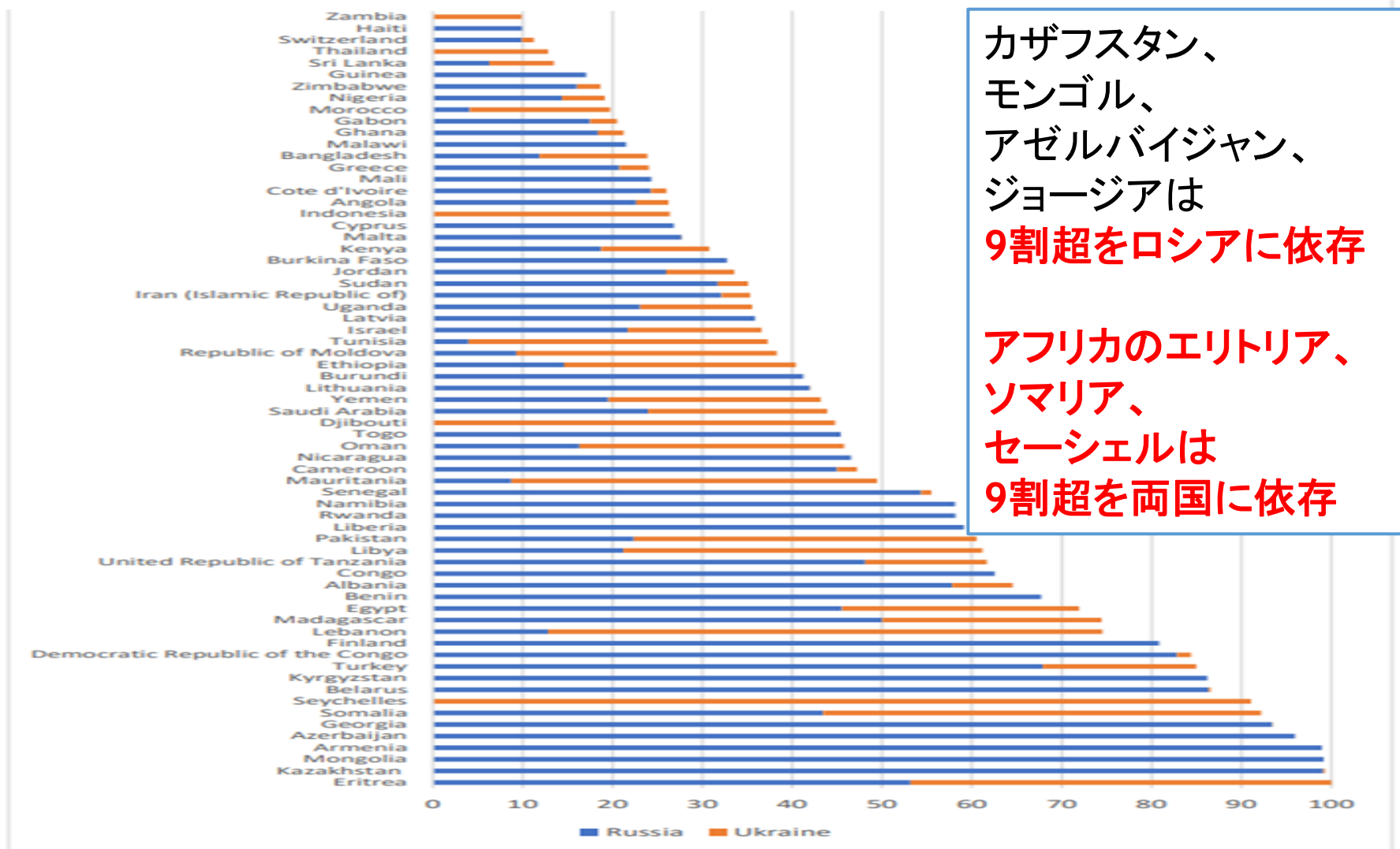
ロシア追放決議

- ・賛成： 93
- ・賛成以外（反対、棄権、不投票）： 100
（大部分は途上国）



Ⅲ. なぜ「グローバル人材」の育成や「多文化共生」社会が必要か？

ロシア(青)・ウクライナ(オレンジ)からの小麦輸入依存度(2021年)



Ⅲ. なぜ「グローバル人材」の育成や「多文化共生」社会が必要か？

2. 世界は「複合的危機」のもとに 「グローバルサウス」という塊？

- ・一枚岩でなく、実に多様
- ・所得水準もバラバラ

Ⅲ. なぜ「グローバル人材」の育成や「多文化共生」社会が必要か？

グローバルサウス？

135か国

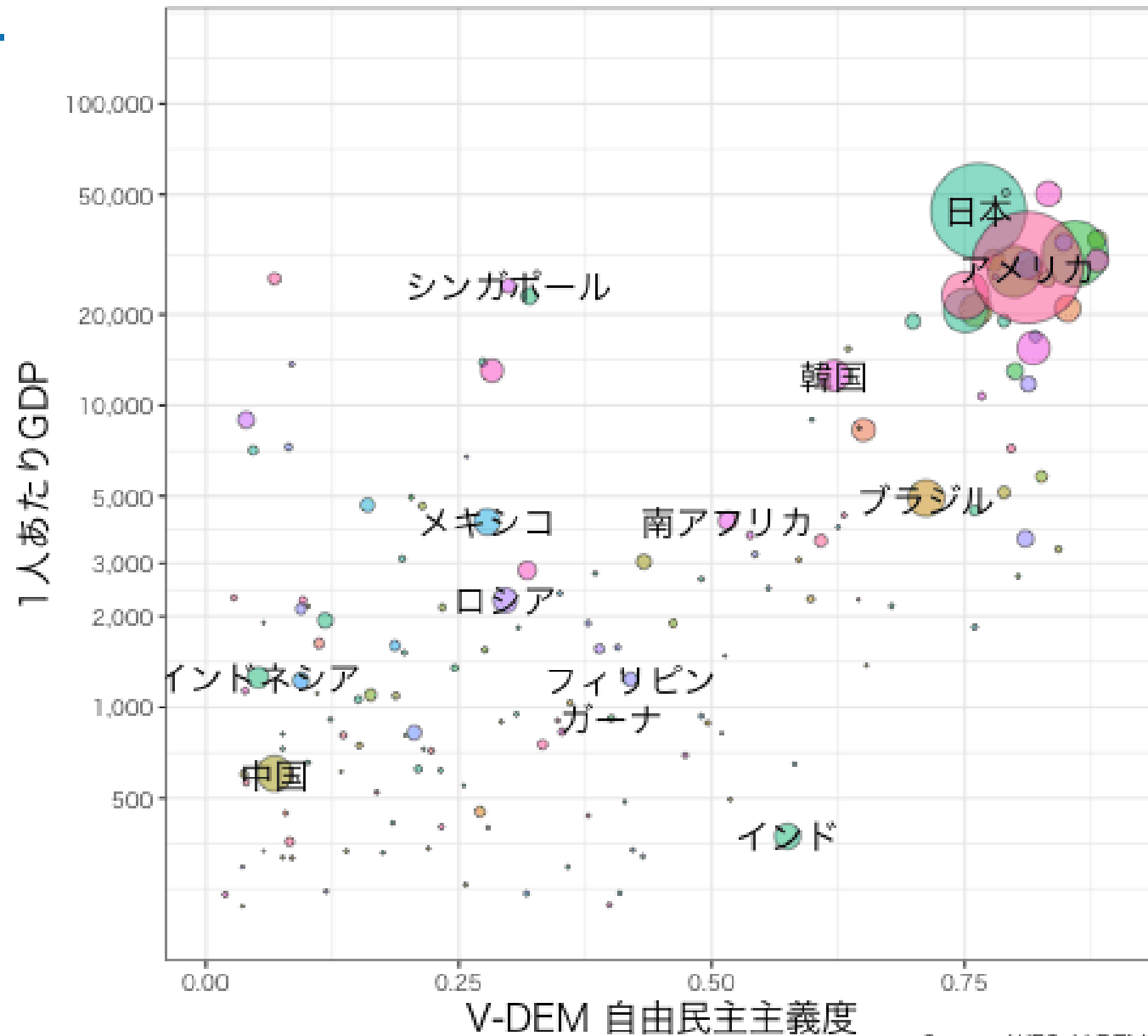
グローバルサウスの分類			
カテゴリー	OECD-DAC基準による 1人あたり国民総所得 (GNI)	該当する国・地域 (自治領除く)	地域内訳
上位 中所得国	4096～12695ドル	52 (中国を除く)	アフリカ(8) アジア(5) 中南米(19) 中東(4) 大洋州(5) 欧州(11)
下位 中所得国	1046～4095ドル	35	アフリカ(13) アジア(10) 中南米(5) 中東(2) 大洋州(4) 欧州(1)
低所得国	1045ドル以下	2	アジア(1) 中東(1)
後発開発 途上国	1018ドル以下および 注釈にある条件	46	アフリカ(33) アジア(8) 中南米(1) 中東(1) 大洋州(3)

(出所) OECD-DACウェブサイトのデータを基に筆者作成。地域内訳は日本外務省の分類を参考にしつつ、中央アジア諸国はアジアに加えた

(注) 後発開発途上国は、人的資源指数を表すHAI(Human Assets Index)が60以下、外的ショックに対する経済的脆弱性を表すEVI(Economic Vulnerability Index)の値が36以上

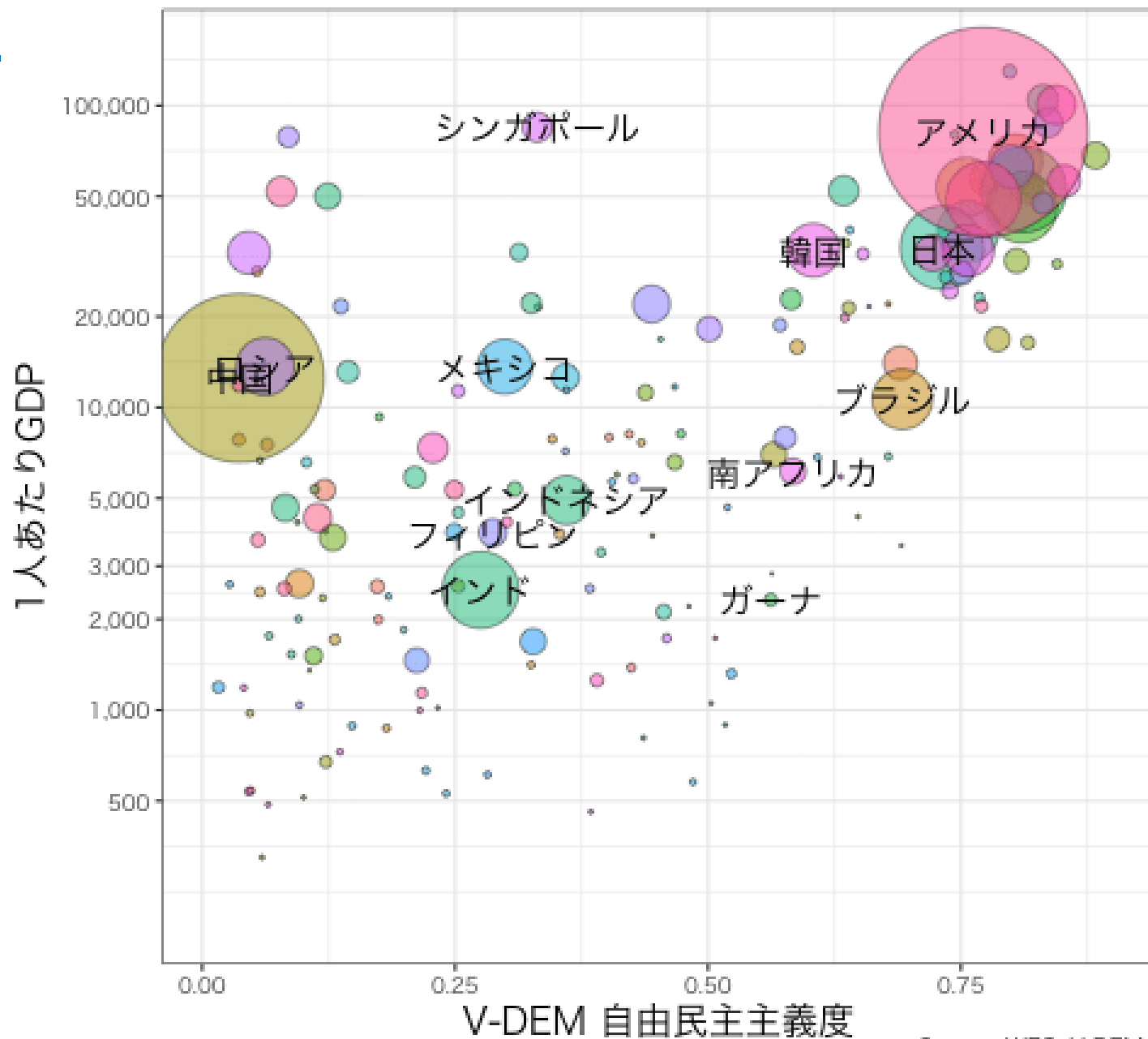
(大庭、2023)

政治体制・生活水準・国力: 1995



Source: WEO, V-DEM
©2024 Akihiko Tanaka

政治体制・生活水準・国力: 2023



Ⅲ. なぜ「グローバル人材」の育成や「多文化共生」社会が必要か？

3. 日本も姫路も例外なく「複合的危機」のもとに

(1) 社会システム：

人口減少、少子高齢化、過疎化

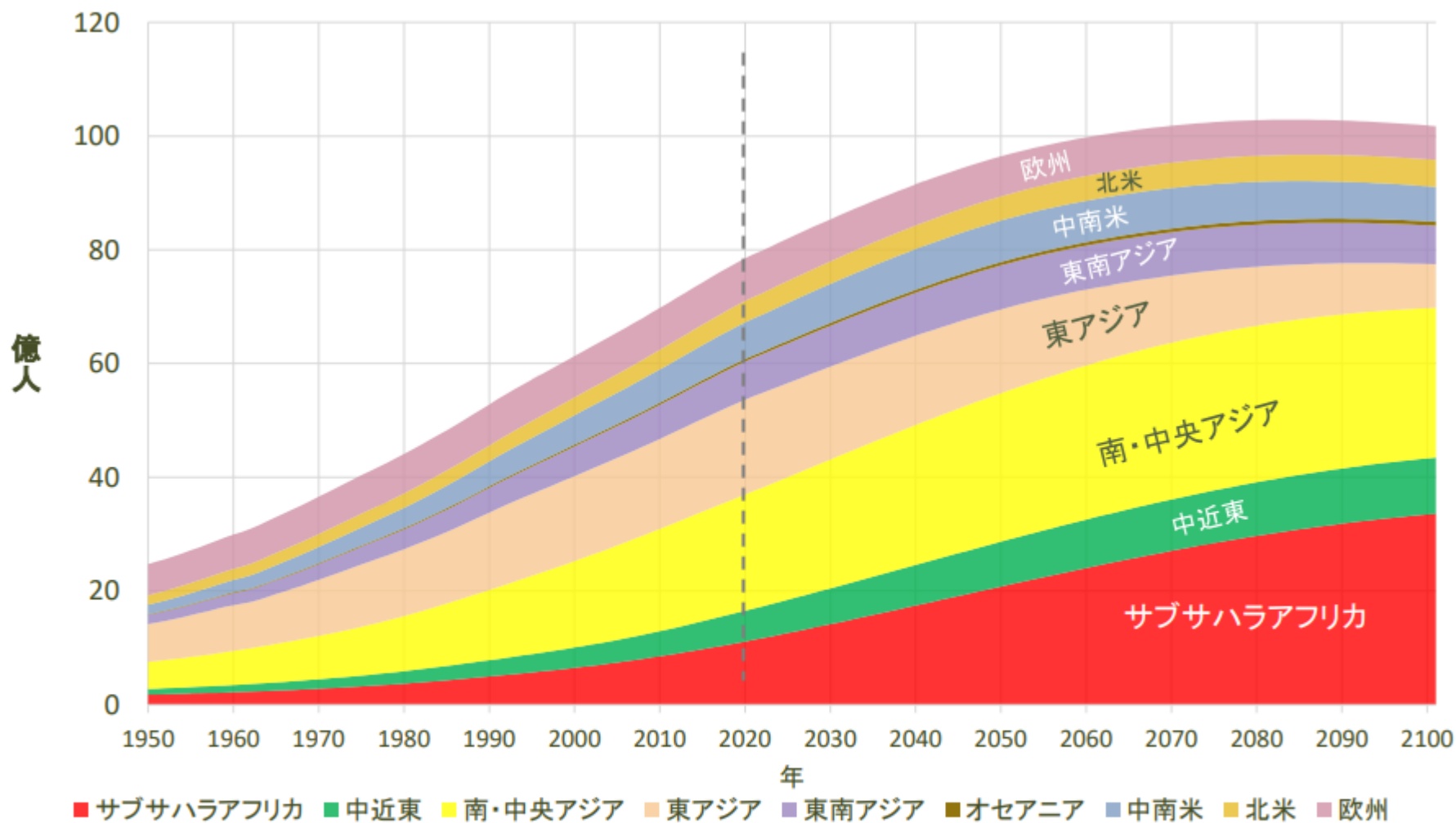
(2) 生命システム：

感染症（コロナ、インフル）

(3) 物理システム：

大規模自然災害（地震、台風、ゲリラ豪雨など）
が頻発

Ⅲ. なぜ「グローバル人材」の育成や「多文化共生」社会が必要か？



2100年になっても人口が減らないのはサブサハラアフリカ、中近東、オセアニア、北米

Ⅲ. なぜ「グローバル人材」の育成や「多文化共生」社会が必要か？

日本の人口減少

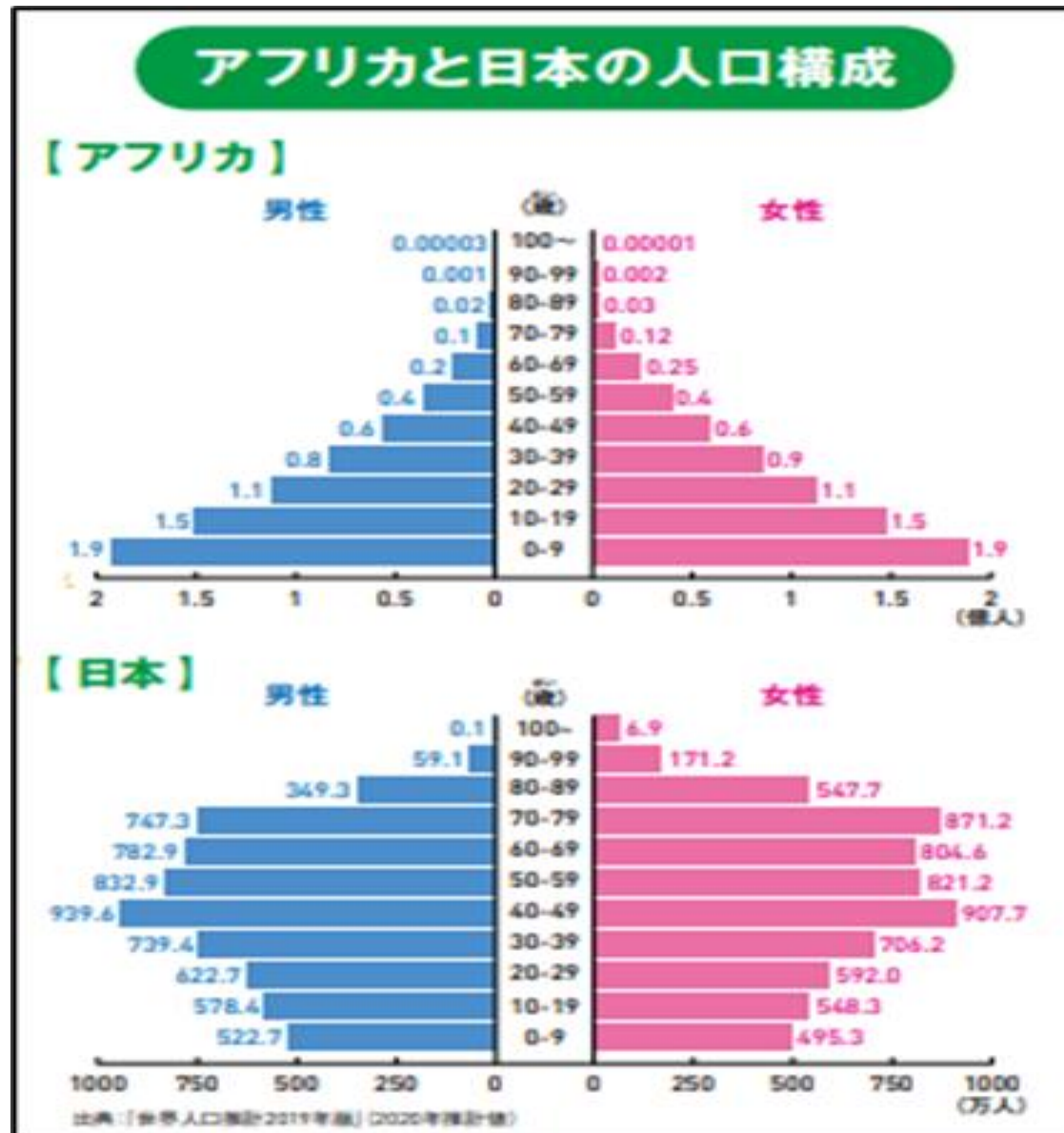
(出典： 国連世界人口推計2024年度版)

一方、アフリカは世界の4人に一人(2050年)、3人に一人(2100年)

(億人)	2024年	2050年	2100年
全世界	82	97	102
日本	1.25	0.95	0.77
アフリカ	15	25	38
割合 (%)	18	26	37

・ 中位年齢： 日本48歳、アフリカ19歳

Ⅲ. なぜ「グローバル人材」の育成や「多文化共生」社会が必要か？



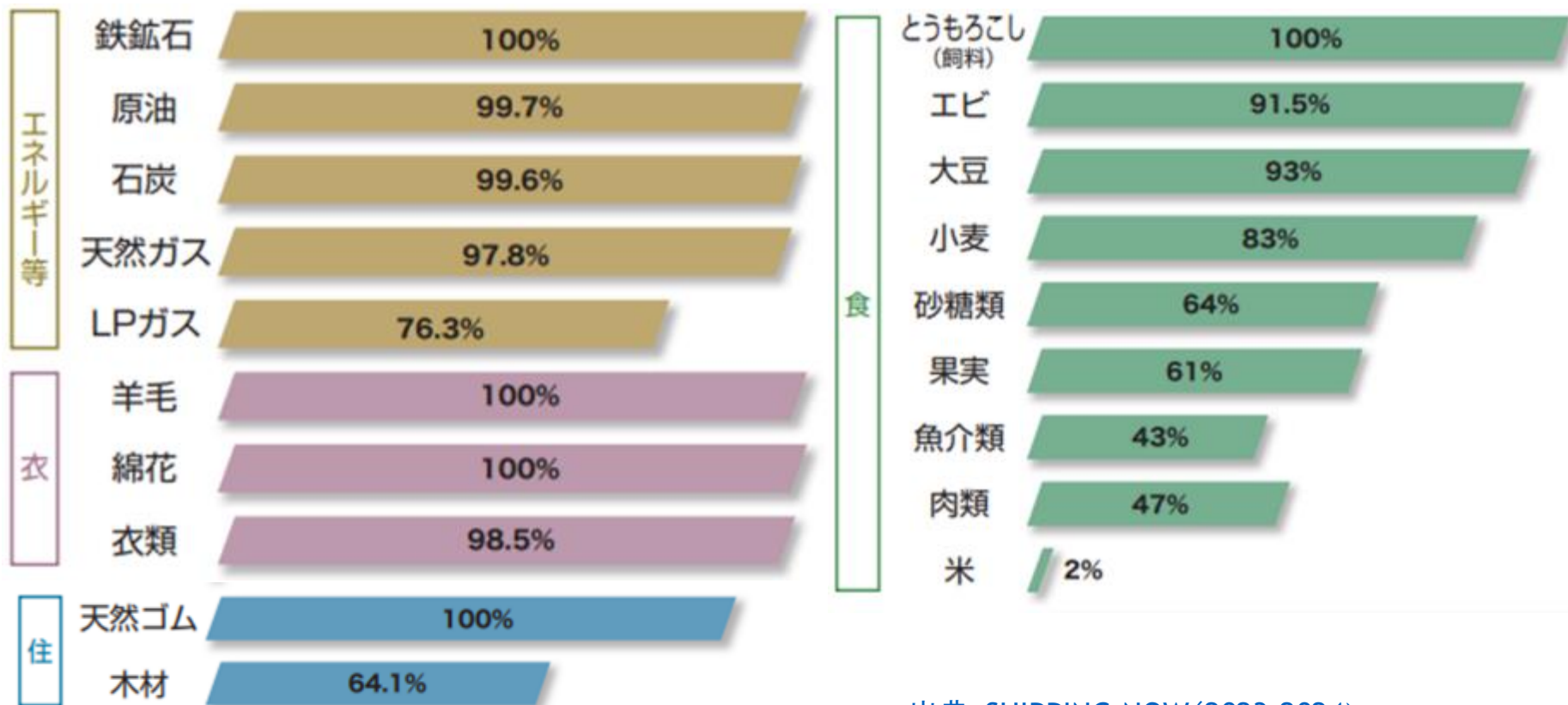
Ⅲ. なぜ「グローバル人材」の育成や「多文化共生」社会が必要か？

3. 日本も姫路も例外なく「複合的危機」のもとに

海外依存は益々強まる：資源、人財

一方で人の動きは二極化（例：パスポート保有率）

主な物資の対外依存度



出典: SHIPPING NOW (2023-2024)

Ⅲ. なぜ「グローバル人材」の育成や「多文化共生」社会が必要か？

3. 日本も姫路も例外なく「複合的危機」のもとに

世界の中での相対的な強み：

- ・ 平和・安全
- ・ 自由（言論、経済、航海など）
- ・ 歴史・文化
- ・ 自然
- ・ おもてなし

Ⅲ. なぜ「グローバル人材」の育成や「多文化共生」社会が必要か？

3.日本も姫路も例外なく「複合的危機」のもとに

大切なこと

- ・ 危機の時代だからこそ、補い合い、助け合う
- ・ 世界の多様な国・地域との信頼関係の維持・発展
- ・ 自由で民主的で経済社会活動が開かれた国

としてのリーダーシップと相互協力（国際協調）

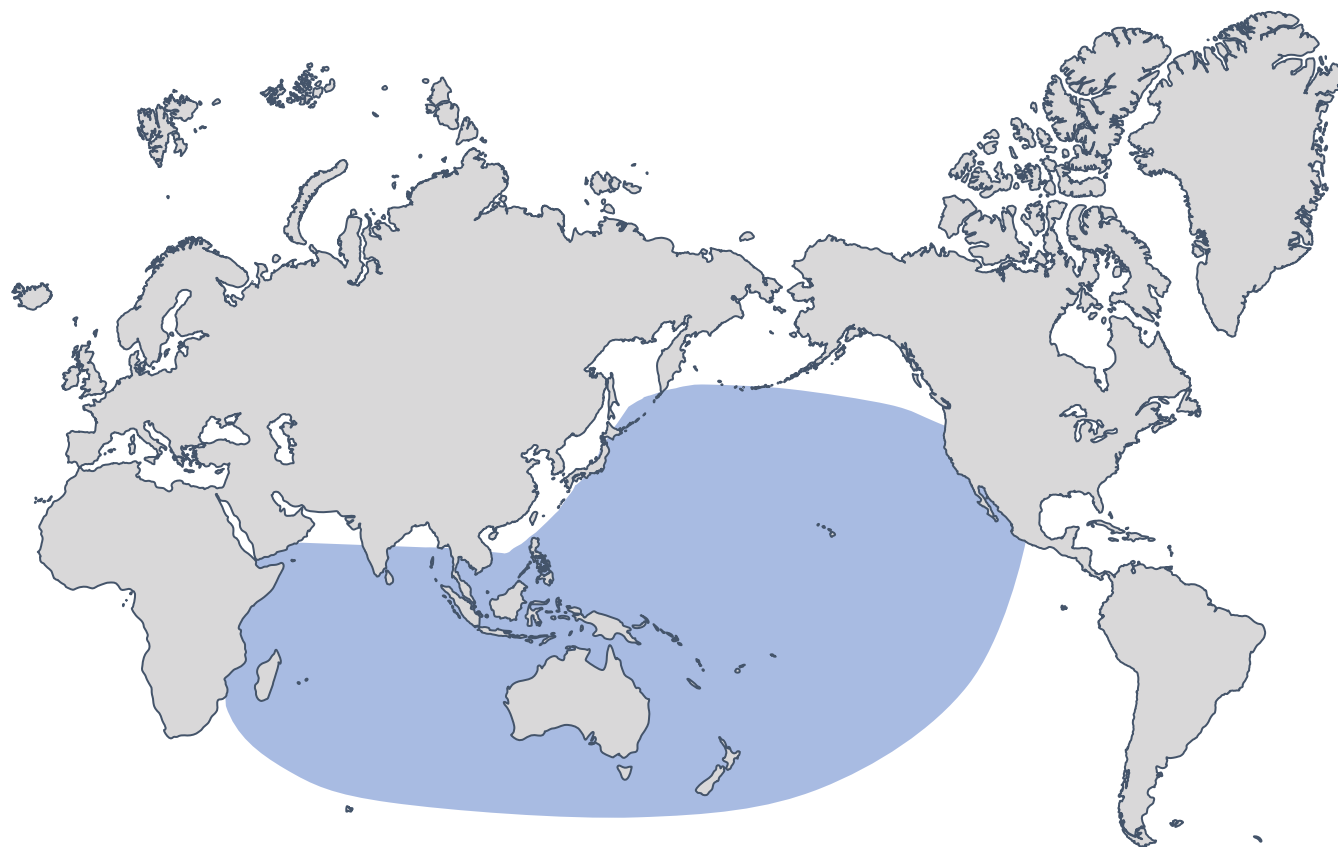
（例：「自由で開かれたインド太平洋」

（FOIP）は米トランプ政権も継承。）

Ⅲ. なぜ「グローバル人材」の育成や「多文化共生」社会が必要か？

自由で開かれたインド太平洋構想

Free and Open Indo-Pacific (FOIP)



IV. 何をなすべきか？

$0 \Rightarrow 1$

(実例を重ねる)

IV. 何をなすべきか？： 0 ⇒ 1

- ・ **教育**： 「**郷土愛**」 と 「**国際的な視座**」 の涵養
- ・ **行政・財界の役割**： 「**出会い**」 と 「**高め合い**」 の
機会・動機の創出

⇒シナリオ

1. (1) 外国人材の受入、
(2) 外国人材との協働・共生、
(3) 姫路の人・企業の海外展開、
などの**具体的な実例を創る**
2. 1. に関係する**人・組織の「心のバリア」が低くなる**
3. 1.、2.の実例・実績を積み重ねることで「**うねり**」に

V. どうすれば？： JICAを「触媒」として 使って頂く具体的方策

V. どうすれば？： JICAを「触媒」として使って頂く具体的方策

1. JICAの概要

- ・ 日本政府の「二国間協力」の実施を一元的に担う機関

（注：「多国間協力」は国連や世界銀行を「通じて」実施）



※1 外交政策の遂行上の必要から外務省が実施するものを除く。

V. どうすれば？： JICAを「触媒」として使って頂く具体的方策

1. JICAの概要（続き）

- ・ ミッション： 「**人間の安全保障**」と「**質の高い成長**」の実現
- ・ ビジョン： 「**信頼（trust）で世界をつなぐ**」
- ・ 組織：

組織概要



海外拠点

96カ所

2023年7月1日現在



国内拠点

15カ所

2023年7月1日現在



職員数

1,968人

2023年7月1日現在



協力対象

139カ国・地域

2022年度

V. どうすれば？： JICAを「触媒」として使って頂く具体的方策

1. JICAの概要（続き）

- ・ 業務上のメニュー

技術協力

有償資金協力

無償資金協力

JICA海外協力隊派遣

市民参加協力

移住者・日系人支援

国際緊急援助

調査・研究

民間連携事業

V. どうすれば？： JICAを「触媒」として使って頂く具体的方策

1. JICAの概要（続き）

(3) 業務実績（2022年度）



※ 13,090人（2021年度）
※ 5,861人（2020年度）
※ 13,217人（2019年度）

※ 9,438人（2021年度）
※ 563人（2020年度）
※ 9,162人（2019年度）

V. どうすれば？： JICAを「触媒」として使って頂く具体的方策

2. JICA関西の概要

- ・（ルーツ）1964年 海外移住事業団 兵庫県および大阪府事務所
- ・ 2002年 JICA兵庫国際センター（須磨浦公園からHAT神戸へ）
（HAT神戸： 阪神・淡路大震災後の象徴的な復興・再開発地、戦後に世界銀行からの融資で整備された神戸製鋼灘浜工場などの跡地（注：世銀融資は日本製鐵広畑工場にも））
- ・ 2012年 JICA関西センター（兵庫と大阪を統合）

関西2府4県の国際協力の窓口

（食堂なども一般開放、
ひょうごフィールドパビリオンも）



V. どうすれば？： JICAを「触媒」として使って頂く具体的方策

3. 使って頂ける機会・メニュー

(1) 「触媒」となる人材例： JICA海外協力隊、JICA留学生

◆JICA海外協力隊

<https://www.jica.go.jp/domestic/kansai/activities/volunteer/index.html>

- ・ 今年は60周年
- ・ 5.7万人の派遣実績（姫路から約200人）
- ・ 応募資格20～69歳、約190の職種
- ・ 派遣・帰国時には市長から激励（皇室からも）
- ・ 近年のキーワード： 「社会還元」

V. どうすれば？： JICAを「触媒」として使って頂く具体的方策

3. 使って頂ける機会・メニュー

◆JICA海外協力隊

- ・ 姫路市からの派遣隊員実績（2025年2月末現在）

	男	女	計
累計人数(姫路市が本籍の方)	104	92	196
派遣中人数(※以下、内訳)	1	4	5

(※) 姫路市からの派遣中隊員

派遣対象国	性別	職種	派遣開始日	派遣終了日
スリランカ	男	野球	2023/8/17	2025/8/16
ジョージア	女	日本語教育	2023/10/18	2025/10/17
ヨルダン	女	マーケティング	2024/1/23	2026/1/22
ホンジュラス	女	青少年活動	2024/8/13	2026/8/12
ボリビア	女	保健師	2024/11/26	2026/11/25

派遣前（3月26日 市長表敬予定）

エクアドル	女	高齢者介護	2025/4/16	2027/4/15
-------	---	-------	-----------	-----------

V. どうすれば？： JICAを「触媒」として使って頂く具体的方策

3. 使って頂ける機会・メニュー

(1) 「触媒」となる人材例： JICA海外協力隊、JICA留学生

◆JICA留学生

- ・日本の大学院（修士・博士課程）に留学中の相手国の中堅リーダーで、母国の国づくりを背負って立つ人材
- ・行政官中心。ビジネス・研究機関出身者も
- ・全国に2,000人、関西圏に約300人
- ・英語で学位取得可能な約100の大学に在籍
(県内は神戸大、関西学院大、神戸情報大学院大学など)

V. どうすれば？： JICAを「触媒」として使って頂く具体的方策

3. 使って頂ける機会・メニュー

(2)教育・学校関係者向け

◆開発教育・国際理解教育 jicaksic-kaihatsu@jica.go.jp

<https://www.jica.go.jp/domestic/kansai/activities/kaihatsu/index.html>

関西2府4県実績（2024年度）

	出前講座	訪問(来館)プログラム
(a) 小学校	40	14
(b) 中学校	37	21*
(c) 高校	57	38*
(d) 大学・短大・専門	39	31*
(e) その他市民団体等	8	25**
合計(件数)	181	129
(参考、(a-d)の合計人数)	16,001人	5,761人
うち、姫路市	なし	*4件

*市立飾磨中部中、県立姫路東高、鹿島朝日高（姫路校）、姫路市医師会看護専門学校

**8月7日、姫路市文化国際交流財団「ひめじ子ども国際交流スクール」25名来訪

V. どうすれば？： JICAを「触媒」として使って頂く具体的方策

3. 使って頂ける機会・メニュー

(2)教育・学校関係者向け

◆教育委員会との協働： いずれも協力隊員（現役、経験者が活躍）

- ・神戸市（教材開発）

https://www.jica.go.jp/domestic/kansai/information/topics/2023/2404111_ss01.html

https://www.jica.go.jp/domestic/kansai/information/topics/2023/240417_ss01.html

<https://www.jica.go.jp/Resource/kansai/enterprise/kaihatsu/demae/report/230608.html>

- ・天理市（出前講座・エジプトとオンライン接続）など

<https://www.nara-np.co.jp/news/20250121211232.html>

https://www.jica.go.jp/domestic/kansai/information/topics/2023/240417_ss02.html

V. どうすれば？： JICAを「触媒」として使って頂く具体的方策

3. 使って頂ける機会・メニュー

(3) 民間企業・経済団体・行政機関等向け

◆草の根技術協力（上限1億円のメニューまで）

jicaksic-kusanone@jica.go.jp

<https://www.jica.go.jp/domestic/kansai/activities/kusanone/index.html>

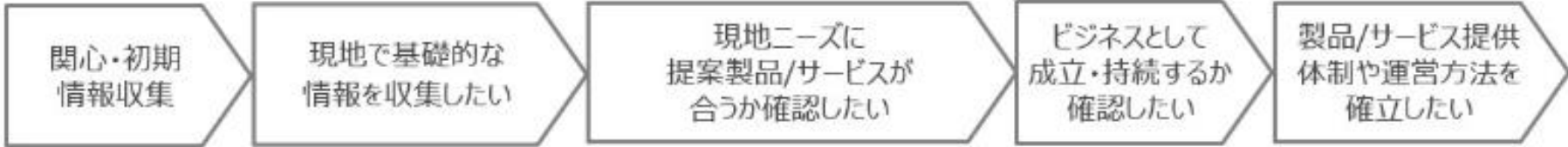
◆中小企業・SDGsビジネス支援事業（上限4千万円のメニューまで）

jicaksic-sme@jica.go.jp

https://www.jica.go.jp/domestic/kansai/activities/priv_partner/index.html

V. どうすれば？： JICAを「触媒」として使って頂く具体的方策

中小企業・SDGsビジネス支援事業



事前コンサルテーション
最寄りのJICA支援窓口
によるご相談



企業共創プラットフォーム
メールマガジン
各種セミナー etc



ビジネススタディーツアー
現地のポテンシャルや、
ビジネスニーズを肌で感じる
・現地のフィールド視察
・現地省庁の訪問
・現地関係者とのネットワー
キング etc

JICAコンサルタントによる伴走支援（ビジネスアドバイザー）			
ニーズ確認調査		ビジネス化実証事業	
ビジネスモデルの検証		ビジネスプラン（事業計画）の策定	
対象国の基礎情報を収集し、開発途上国ニーズ、顧客ニーズと自社製品/サービスとの適合性を分析し、競争優位性を含めた初期的なビジネスモデル（市場規模の把握、顧客の特定、流通チャネル等）を検証する。		製品/サービスに対する顧客の受容性、現地パートナーの候補を含むビジネスモデル策定に関連する調査を通じ、収益性の検証と製品/サービス提供体制・オペレーションの構築、ビジネスプラン（事業計画）を策定する。	
期間	上限12か月	期間	上限2年6か月
調査経費	上限1,500万円	調査経費	上限4,000万円
対象企業	中小企業／中堅企業 非営利法人、中小企業団体	対象企業	中小企業／中堅企業／大企業 非営利法人、中小企業団体

V. どうすれば？： JICAを「触媒」として使って頂く具体的方策

3. 使って頂ける機会・メニュー

(3) 民間企業・経済団体・行政機関等向け

◆中小企業・SDGsビジネス支援事業

姫路の企業の活用事例①

株式会社姫路生花卸売市場（御国野町）： ベトナム

「育苗及び生産の近代化による高品質花卉の産地育成」

・ 案件化調査（2016年8月～2017年8月）

https://www2.jica.go.jp/ja/priv_sme_partner/document/614/A152012_summary.pdf

・ 普及・実証事業（2018年3月～2022年3月）

https://www2.jica.go.jp/ja/priv_sme_partner/document/824/F171024_summary.pdf

V. どうすれば？： JICAを「触媒」として使って頂く具体的方策

3. 使って頂ける機会・メニュー

(3) 民間企業・経済団体・行政機関等向け

◆中小企業・SDGsビジネス支援事業

姫路の企業のご活用事例②

有限会社播磨海洋牧場（白浜町）： 東ティモール

「はりかい式高品位水産物生産を活用したグローバル・フード
バリューチェーン構築」

・ 案件化調査（2018年3月～2019年3月）

https://www2.jica.go.jp/ja/priv_sme_partner/document/852/A171053_summary.pdf

V. どうすれば？： JICAを「触媒」として使って頂く具体的方策

3. 使って頂ける機会・メニュー

(3) 民間企業・経済団体・行政機関等向け

◆（入口として）JICA留学生のインターン受入

- ・ 1日～数か月単位
- ・ 受入企業・団体のメリット： 新規事業検討、
海外進出のための情報収集・人的ネットワーク拡大、
（何よりも）「言語の壁」（心のバリア）の払拭
- ・ 留学生のニーズ： 日本の商習慣の理解、
日本の役に立ちたい（海外展開支援、製品の母国への紹介）
志の具体化、
人的ネットワーク拡大

V. どうすれば？： JICAを「触媒」として使って頂く具体的方策

3. 使って頂ける機会・メニュー

(3) 民間企業・経済団体・行政機関等向け

◆（入口として）JICA留学生のインターン受入

「出会い」⇒「高め合い」の実績：

インターン受入がきっかけで、「中小企業・SDGsビジネス支援事業」の活用や、海外展開に繋がった事例

・音羽電機工業（尼崎市）

<https://www.jica.go.jp/domestic/kansai/story/20221202.html>

・辻プラスチック（東近江市）

https://www.jica.go.jp/domestic/kansai/information/topics/2021/210409_01.html

その他、ダイキン工業（大阪市、子会社Baridi Baridi（株）（神戸市））

など

V. どうすれば？： JICAを「触媒」として使って頂く具体的方策



JICA留学生のインターンシップ

帰国後、日本企業のビジネスをサポート（ニジェール）

- ムタリ氏（ニジェール出身 元JICA留学生 大学院でMBAを学ぶ）
- ・ 辻プラスチック株式会社（滋賀県東近江市）でインターンを実施。
自国の課題解決のために、同社からソーラー技術、メンテナンス技術、自国での適合性の高い製品の活用方法を学ぶ。
- ・ 2020年にニジェールに帰国後は、元の中央省庁（観光省）に復職するとともに、自ら起業し、辻プラスチック社のビジネスを支援。
- ・ 辻プラステック社のソーラー充電器の民間への貸し出しサービスを広範囲で展開。
- ・ パイロット事業として、首都近郊の学校にソーラー充電器とランタンを贈与、家庭に電力がない生徒たちに、夜間の学習時間の確保や家庭の生活向上を目指している。



充電の操作方法を伝えているムタリ氏

V. どうすれば？： JICAを「触媒」として使って頂く具体的方策

3. 使って頂ける機会・メニュー

(4)近年の国内でのニーズに応える新たな動き

◆外国人材の受入促進、「多文化共生」支援

https://www.jica.go.jp/Resource/activities/schemes/multicultural/v4lphn0000004q87-att/materials_01.pdf

①外国人介護人材「神戸モデル」

大学×社会福祉法人×神戸市×JICA

<https://kobeplatform.or.jp/training/>

②外国人「防災リーダー」育成

企業×京都府八幡市×防災士×JICA

<https://www.city.yawata.kyoto.jp/0000010035.html>

③責任ある外国人労働者受入プラットフォーム「JP-MIRAI」

<https://jp-mirai.org/jp/outline/>

VI. まとめ： 緒方貞子の言葉

『聞き書 緒方貞子 回顧録』（野林健、納家政嗣、2015年、岩波書店）

開かれた多様性に基づく社会へ（p.298-301からの抜粋）

**いまの日本人がすべきことは、
自分たちの立っている位置を確認し、
どこへ向かって進んでいくべきか、
どのような社会の構築を目指すのかについて、
はっきりしたヴィジョンを持つことだと思います。**

VI. まとめ： 緒方貞子の言葉

日本社会が自信を取り戻して、再び前進するためには、世界の多様な文化や価値観、政治や社会に目を開いて、そこから何かを学びとること、それとともに、**国内でも多様性を涵養していくことが不可欠です。**

異なるものを認め、そこで対話を開くということは、頭で理解するほど容易ではありません。現実にはそのプロセスは苦痛も多いでしょう。努力がいるのです。

異質な他者を認め敬うなどということは、自然には起こりません。ですからできるだけ早くから多様性に対する感性を養うのが重要です。

そのことが日本に活力を与え、閉塞感を打破することにつながるのです。そこにこそ、これからの日本の進むべき道はありと私は思っています。

VI. まとめ： 緒方貞子の言葉

最も大事なのが教育です。

日本の教育の最大の問題は、やはり画一的であることだと思います。

(中略)

異なる意見をぶつけ合って、自分の意見を鍛え上げる、そして学び合う。

日本の教育は大学を含めて、いまだにそうした訓練の場にはなりきっていないのではないのでしょうか。

VI. まとめ： 緒方貞子の言葉

日本のみが孤立して暮らしていきえることはありません。

国を開き、多様性をそなえ、

高い能力を持って外との関係を築くこと、

そして国際的な責務を果たすこと。

これなくして、日本に明るい展望は望めません。

そうした方針を積極的に打ち出し、果敢に行動すべきです。

このまま孤島に閉じこもる道などありえないのです。

ご清聴ありがとうございました

アフリカのことわざ

If you want to go fast, go alone.

If you want to go far, go together.

早く行きたければ一人で行け。

遠くまで行きたければみんなで進め。